

(評価)対象年度	令和 7 年度
編成区分	12月補正
記入日	R7.10.24

第3次総合計画 実施計画事業シート

担当課	水産課
課長名	
担当者	

対象事業名(事業番号)	赤潮対策支援事業 (若松町中央漁協)	(新)
-------------	--------------------	-----

会計の選択	一般会計	ハード・ソフト・維持等の選択	ハード
新規・継続事業の選択	新規	政策評価の選択	評価対象 (新規)
単独・補助・県営事業の選択	単独	重点政策(総合戦略)の選択	重点1
第3次総合計画の位置付け (体系表を確認し選択して下さい)	基本目標	2	にぎわいと活気にあふれ安心して働くまち
	分 野	22	水産業
	政 策	223	漁村づくりと水産業基盤整備の推進
	施 策	2231	水産業基盤整備

事業期間(選択)	単年度事業				継続事業の場合		年度～		年度
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	計	
事業費(千円)	4,874								4,874
国 費	0								0
県 費	2,437								2,437
起 債									0
そ の 他	0								0
一般財源	2,437	0	0	0	0	0	0	2,437	
交付金等名	新たにチャレンジ水産経営応援事業費補助金					補助率	県1/2		

事業の目的 (誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果をえようとしているのか)	若松町中央漁協所属組合員数は、正組合員98名、准組合員247名の合計345名である。沿岸漁業においては、ブリ、ヒラマサ、クロマグロ等の養殖漁業を主体とした経営が盛んであり、ブリ類は県内有数の産地であるほか、クロマグロは長崎県推し魚第1号として知名度が向上しているところである。 しかしながら、資材や燃油、飼料価格の高騰により養殖業の経営は厳しい状況が続いているうえ、温暖化による海水温の上昇から赤潮が発生しやすい漁場環境に変化しつつある。赤潮防除剤の散布等の対策を行政や養殖業者等と連携して行うことにより漁業被害を出すことなく有害プランクトンの出現を収束することができる。
	◆全体事業計画又は事務フロー 【赤潮防除剤整備・散布】 赤潮防除剤 655袋 散布範囲 若松瀬戸一円
事業の概要	総事業費：5,362,000円 補助対象事業費： 4,874,000円 県費(補助金)： 2,437,000円 町費(補助金)： 2,437,000円(新上五島町水産業振興奨励事業費補助金)(1/2以内補助) 補助対象外： 488,000円
	◆当年度事業計画 18節 新上五島町水産業振興奨励事業費補助金 4,874千円
その他 特記事項	水産業振興奨励事業

事業の必要性 (現状における問題点、その要因、今後の課題)	若松町中央漁協管内では、温暖化による海水温の上昇から赤潮が発生しやすい状況であり、養殖漁業を営む漁業者において、赤潮防除剤は欠かせないものである。発生した赤潮による被害を防止するため、防除剤の整備を行うことにより漁業被害を出すことなく有害プランクトンの防除につながり収束することが期待される。					
----------------------------------	--	--	--	--	--	--

2次評価	事業の方向性	● 採択	● 所管案のとおり	事業のやり方改善	事業規模拡大
			事業規模縮小	事業統廃合	その他
		不採択	企画不十分		
	一部不採択	企画不十分			
評価理由	養殖漁業において赤潮被害は死活問題であり、海域の状況を踏まえ緊急に対策を講じる必要性が生じたのであれば迅速に対応を行う必要がある。				